

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	知識メディアデザイン特論		
英文授業科目名	Topics on Knowledge Media Design		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	柏原 昭博		
居室	西2-119		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>知識社会においては、人間の知的活動を支える情報メディア（知識メディア）が果たす役割は非常に大きい。知識メディアの実現には、情報通信技術だけではなく、それを活かして認識・理解・学習といった人間によるメディア情報の知的処理を支援するための理論や方法論が必要となる。今後の知識社会の発展には、こうした知識メディアに対する理解を深めるとともに、知識メディアをデザインするための基本的な知識や技能が不可欠である。本講義科目では、学習支援を具体的な題材として、知識メディアのデザイン方法論を講義する。特に、知識メディアの基本概念やデザインのための諸理論・基盤技術を理解することを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
特に指定しない。適宜、資料や論文を配布する。

【授業内容とその進め方】

(a)授業内容

知識メディア（学習支援システム）に関わる諸概念およびデザイン方法論を講義する。また、学習支援システムに関する最前線の研究を調査し、輪講形式で発表してもらう予定である。具体的な講義内容は、以下の通りである。

1. 知識メディアと学習支援システム
2. 学習支援における基礎概念
3. 学習支援の基礎分野
4. 学習モデル
5. 学習支援システムのデザインおよび事例紹介
6. メタ学習支援のデザイン
7. 研究最前線（輪講）

(b)授業の進め方

上記講義内容の2/3は、eLearningコンテンツによる学習となる。また、2～3回のeLearning受講後に対面講義を行い、eLearningで学習した内容に関して質疑応答や補足説明を行い、講義内容の理解の促進を図る。さらに、実際に開発された学習支援システムを利用することを通して、知識メディアデザインに関する理解を深めてもらう。

(c) 授業時間外の学習（予習・復習）について

本講義内容は、初回から順次学んだ知識を積み上げていくように構成されている。そのため、講義の進捗状況に応じて適宜予習・復習をすることが必須である。本講義内容は、eLearningコンテンツによって、Webを介していつでもどこからでも閲覧可能である。知識メディアデザイン方法論を身につけるためにも、積極的に予習・復習に取り組むこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席（eLearningの聴講を含む）および講義内容についてのレポート（60%）と対面講義における発表内容（40%）で評価する。なお、以下の到達レベルをもって、合格の最低基準とする。

- － 知識メディアデザインに関わる諸概念を説明できること。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問や相談は、適宜eメールで受け付ける。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【学生へのメッセージ】

講義の前提となる知識をできるだけ必要としないように講義を進める予定です。人間の知的活動，特に学習という知性の本質に興味があり，情報通信技術を使っていかに支援するのかに興味のある方はぜひ受講してください。

【その他】